

# OTC 薬、プライマリケアを対象とする「薬剤師の臨床判断ワークショップ 2017」 対象症候「頭痛」(第 11 回) 報告書

日本アプライド・セラピューティクス学会 OTC 検討委員会

## 【開催目的】

地域におけるプライマリケアの重要な担い手である薬剤師が、来局者の病態を反映する情報や所見を自ら収集して疾患を推測し、適切な対処法を提案・実践するために、臨床判断能力に焦点を当て、薬局にしばしば来局する「頭痛」を訴える来局者を例に「効果的な情報収集と疾患の推測(症候からの鑑別)」さらに「疾患の重症度に応じた適切な対処法の提案と実践(トリアージ)」の2つのプロセスについて、簡単な演習とロールプレイを交えた参加型セミナーの形で習得することを目的とした。

## 【実施概要】

### ① OTC 薬、プライマリケアを対象とする「薬剤師の臨床判断ワークショップ 2017」対象症候『頭痛』(第 11 回)

#### アドバンストコース

開催日時：2017年10月21日(土) 15:00~18:00 (受付開始 14:30)

開催場所：昭和大学 旗の台キャンパス 2号館4階 ラーニング・コモンズ(東京都品川区)

参加人数：7名

企画：坂口真弓 先生(みどり薬局、東京薬科大学 客員教授)

山岡和幸 先生(前橋北病院)

日本アプライド・セラピューティクス学会 OTC 検討委員会

一般社団法人 薬局共創未来人財育成機構(共催)

概要：「頭痛薬/解熱鎮痛薬」OTC 薬販売方法、選び方、勧め方

#### 入門コース

開催日時：2017年10月22日(日) 9:00~18:00 (受付開始 8:30)

開催場所：昭和大学 旗の台キャンパス 1号館5階 会議室 A・B・C 等(東京都品川区)

参加人数：6名(プリセプター2名)

企画：木内祐二 先生(昭和大学薬学部)、狭間研至 先生(ファルメディコ(株))

日本アプライド・セラピューティクス学会 OTC 検討委員会

一般社団法人 薬局共創未来人財育成機構(共催)

公益社団法人 熊本県薬剤師会(後援)

概要：1) 「頭痛」に対する臨床判断

患者からの情報収集と疾患の鑑別、患者に対するトリアージのプラン作成

— グループ討議とロールプレイを中心に —

2) フィジカルアセスメント

基本的なバイタルサインの測定方法 — 聴診、血圧測定などの実習 —

## 【今後の課題】

アドバンストコースが7名、入門コースが6名、プリセプター2名とWS参加者が少なかった。その原因としては、対象症候が「頭痛」であり、健康サポート薬局研修の研修B（技能Ⅱ）と同様であることも一因と考えられた。引き続き、今後の募集については、他の類似のWSとの差別化等、工夫が必須であると言える。

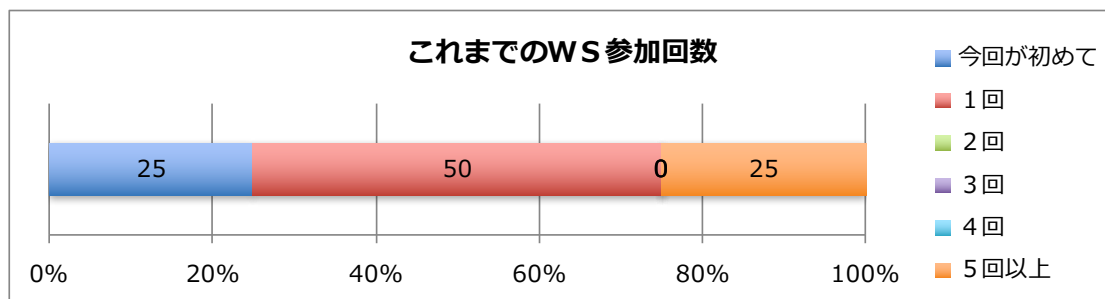
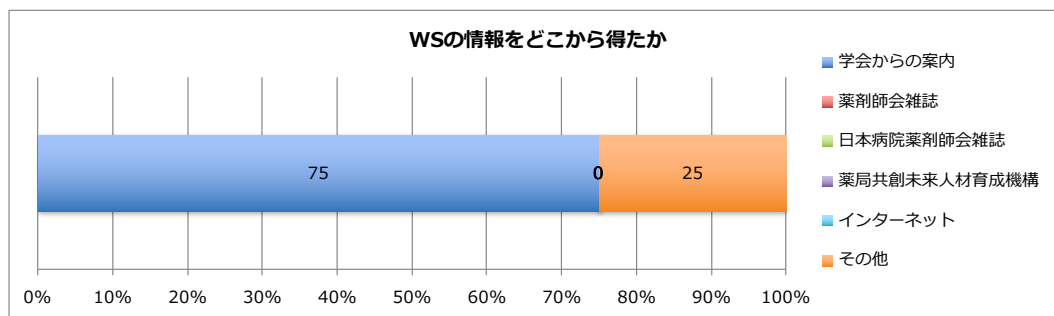
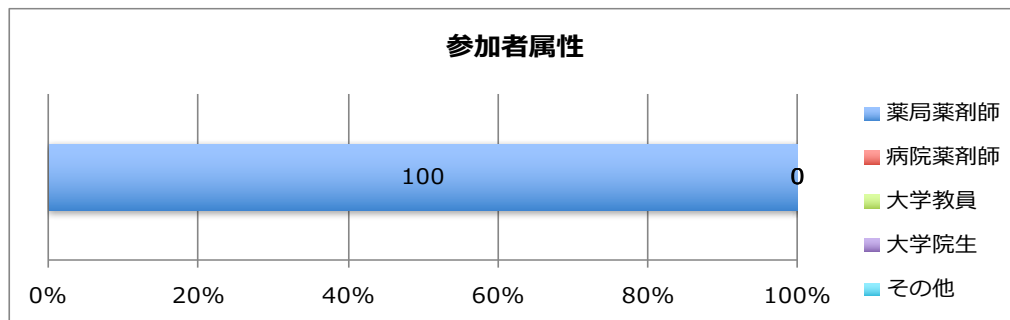
## 【アンケート結果】

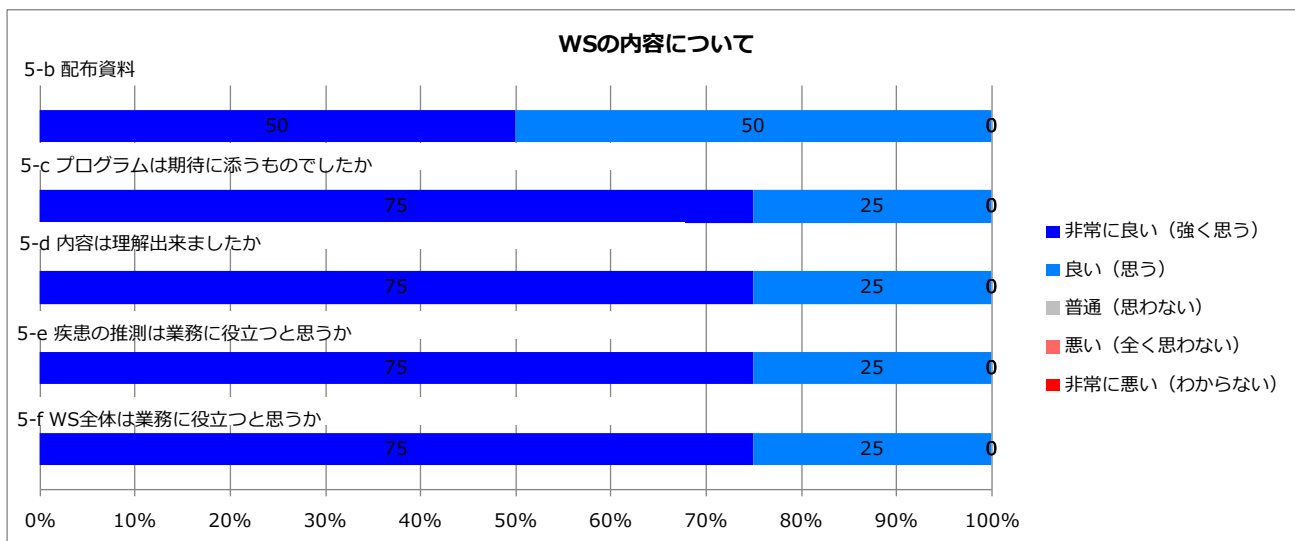
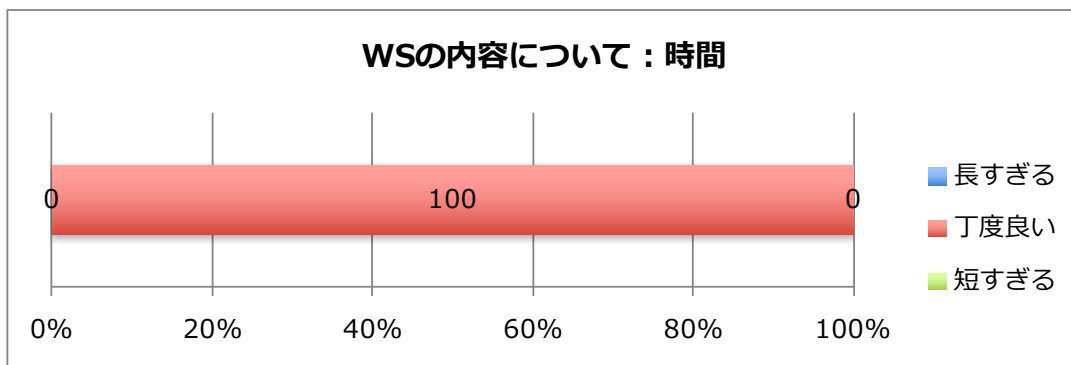
「薬剤師の臨床判断ワークショップ2017」対象症候『頭痛』（第11回） 入門コース

参加人数：6名（プリセプター2名）

アンケート回収率（4/6：66.6%）

結果





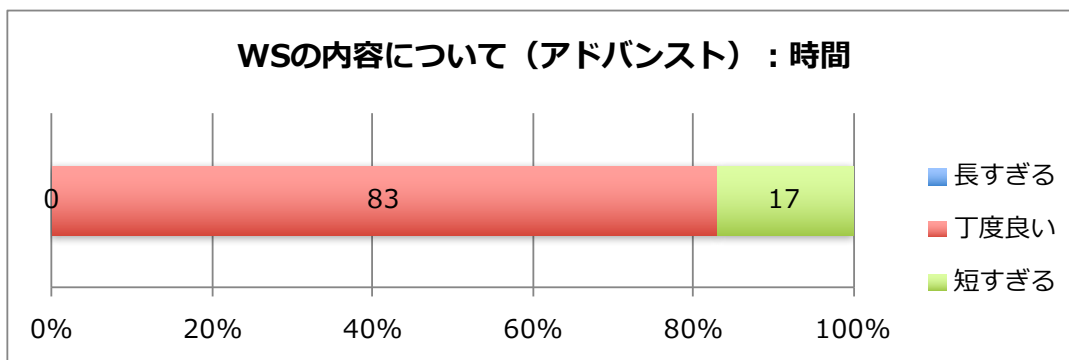
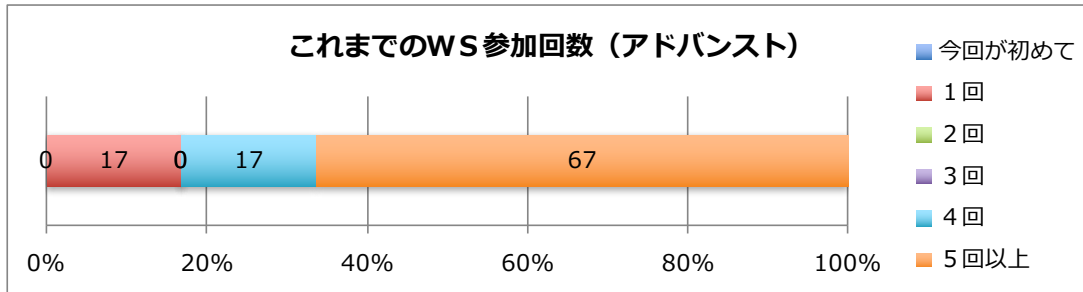
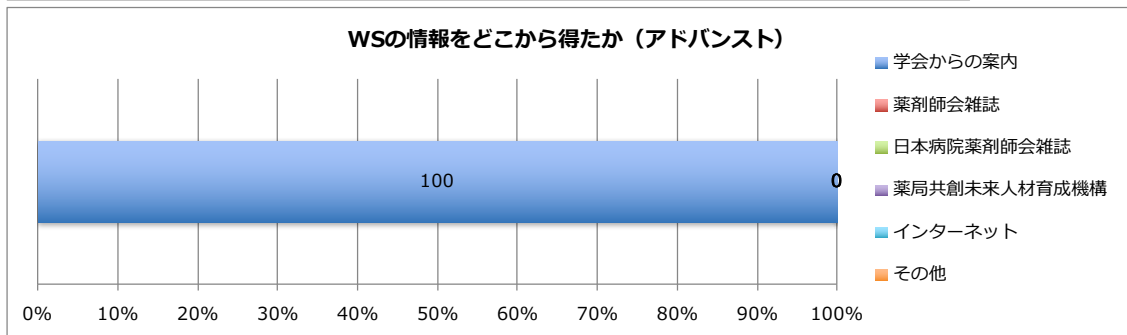
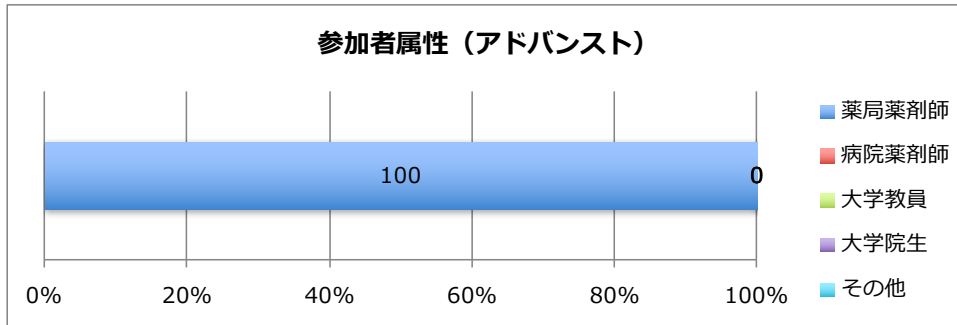
自由記載の内容		Positive	Negative
運営			
内容			
	薬剤師としての心構えが良い		
	学習内容はすぐにでも活用sできる		
感想・その他			
	もっとたくさんの薬剤師に受講してほしい		

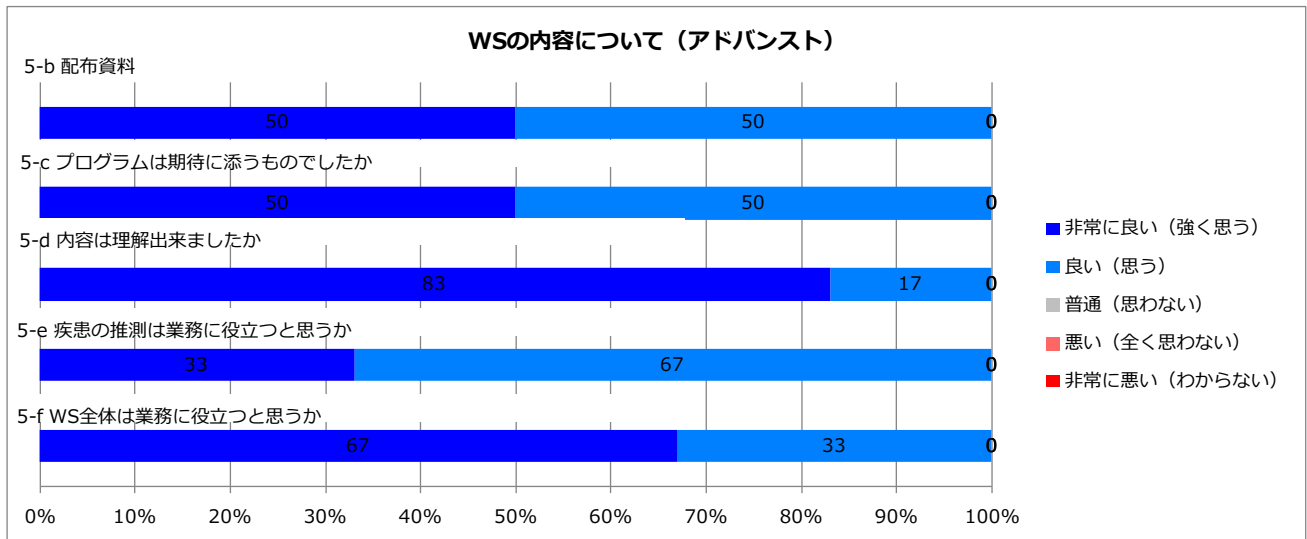
「薬剤師の臨床判断ワークショップ 2017」対象症候『頭痛』（第 11 回） アドバンストコース

参加人数：7 名（プリセプター 0 名）

アンケート回収率（6/7：86 %）

結果





自由記載の内容（アドバンスト）	
運営	Positive
	Negative
内容	Positive
	Negative
	成分からOK/NGを判別する表作成は良い POP作成など日常業務に活かせると思った
感想・その他	患者背景を知ることで、やみくもに契めることがなくなると思った
	メーカーの資料にも良く目を通すようになります
	実はOTCはほとんどない販売機会は乏しい。今後を考えての参加

以上